

繰越を必要とする理由書

機関番号： 12345 研究機関名： ×××大学 研究代表者名： 学 振太郎
 課題番号： 26234567 平成26年度国庫債務負担行為分： 68,900,000 円 (内訳：直接経費 53,000,000 円・間接経費 15,900,000 円)
 繰越承認要求額： 10,400,000 円 (内訳：直接経費 8,000,000 円・間接経費 2,400,000 円)

研究種目： 特別推進研究 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 26年度～29年度

様式CK-26
作成・確認のポイント

間接経費は、原則、直接経費の30%相当額ですが、全額執行済みや執行予定が決まっている場合は、30%相当額未満でも構いません。(※ 研究機関の事務担当者に確認してください。)

<記入上の留意事項>
 ○ファイルの書式(行数、列数、幅等)、ファイルの形式は一切変更しないでください。
 ○フォントは「MS明朝」を使用してください。
 ○アルファベット、数字、記号は、「半角」で入力してください。
 ○元号は、「H」を用いず、「平成」としてください。(当初計画及び変更後の計画欄を除く。)

<重要>
 枠の3ヶ月間が繰越事由に該当。それに要する期間のみ延長可能。(繰越事由が発生した期間の前後の月は、原則として計画の内容・期間の変更ができません。)
 (補足説明)欄では、繰越事由が生じた理由、期間延長の妥当性、計画の変更点について、明確な説明が必要です。繰越事由一覧や記入例、電子申請システムのテキストを参考に作成してください。

当初計画及び変更後の計画		左の<当初計画>に記入した内容・時期を記入。	当初の研究計画																																																		
<table border="1"> <tr> <th><当初計画></th> <th><変更後の計画></th> </tr> <tr><td>H26.4 事前準備</td><td>H26.4 事前準備</td></tr> <tr><td>H26.5 ○○○調査</td><td>H26.5 ○○○調査</td></tr> <tr><td>H26.6 ↓</td><td>H26.6 ↓</td></tr> <tr><td>H26.7 ↓</td><td>H26.7 ↓</td></tr> <tr><td>H26.8 フィールド調査</td><td>H26.8 フィールド調査</td></tr> <tr><td>H26.9 ↓</td><td>H26.9 ↓</td></tr> <tr><td>H26.10 △△解析</td><td>H26.10 △△解析準備</td></tr> <tr><td>H26.11 ↓</td><td>H26.11 ↓</td></tr> <tr><td>H26.12 ↓</td><td>H26.12 ↓</td></tr> <tr><td>H27.1 ↓</td><td>H27.1 △△解析</td></tr> <tr><td>H27.2 ↓</td><td>H27.2 ↓</td></tr> <tr><td>H27.3 研究成果取りまとめ</td><td>H27.3 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.4 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.5 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.6 研究成果取りまとめ</td></tr> <tr><td></td><td>H27.7 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.8 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.9 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.10 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.11 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H27.12 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H28.1 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H28.2 ↓</td></tr> <tr><td></td><td>H28.3 ↓</td></tr> </table>		<当初計画>	<変更後の計画>	H26.4 事前準備	H26.4 事前準備	H26.5 ○○○調査	H26.5 ○○○調査	H26.6 ↓	H26.6 ↓	H26.7 ↓	H26.7 ↓	H26.8 フィールド調査	H26.8 フィールド調査	H26.9 ↓	H26.9 ↓	H26.10 △△解析	H26.10 △△解析準備	H26.11 ↓	H26.11 ↓	H26.12 ↓	H26.12 ↓	H27.1 ↓	H27.1 △△解析	H27.2 ↓	H27.2 ↓	H27.3 研究成果取りまとめ	H27.3 ↓		H27.4 ↓		H27.5 ↓		H27.6 研究成果取りまとめ		H27.7 ↓		H27.8 ↓		H27.9 ↓		H27.10 ↓		H27.11 ↓		H27.12 ↓		H28.1 ↓		H28.2 ↓		H28.3 ↓	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成27年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成27年2月までに、 ○○○調査、フィールド調査を経て、△△解析を実施し 平成27年3月までに、 研究成果を取りまとめる 予定であった。	翌年度計画と繰越承認要求額に大きな乖離はないか確認。
<当初計画>	<変更後の計画>																																																				
H26.4 事前準備	H26.4 事前準備																																																				
H26.5 ○○○調査	H26.5 ○○○調査																																																				
H26.6 ↓	H26.6 ↓																																																				
H26.7 ↓	H26.7 ↓																																																				
H26.8 フィールド調査	H26.8 フィールド調査																																																				
H26.9 ↓	H26.9 ↓																																																				
H26.10 △△解析	H26.10 △△解析準備																																																				
H26.11 ↓	H26.11 ↓																																																				
H26.12 ↓	H26.12 ↓																																																				
H27.1 ↓	H27.1 △△解析																																																				
H27.2 ↓	H27.2 ↓																																																				
H27.3 研究成果取りまとめ	H27.3 ↓																																																				
	H27.4 ↓																																																				
	H27.5 ↓																																																				
	H27.6 研究成果取りまとめ																																																				
	H27.7 ↓																																																				
	H27.8 ↓																																																				
	H27.9 ↓																																																				
	H27.10 ↓																																																				
	H27.11 ↓																																																				
	H27.12 ↓																																																				
	H28.1 ↓																																																				
	H28.2 ↓																																																				
	H28.3 ↓																																																				
一致しているか確認。 原則、一致しているか確認。 +3ヶ月		事由 記号等 ①キ 計画に関する諸条件(研究協力者(機関)の事情)																																																			
繰越事由の発生した時期 平成26年10月		延長の終了時期 平成27年6月末(3ヶ月延長)	(補足説明) 平成26年10月、▲▲を扱う専門的知識を有する研究協力者が所属研究機関の都合により、△△解析に参画できなくなった。同様の知識を持つ新たな人材を確保する必要が生じたが、確保までに3ヶ月の期間を要した。																																																		

平成27年度継続課題については、平成26年度計画を平成27年度後半まで繰越して延期する場合、平成27年度の当初計画の補助事業が十分に遂行できるか検証してください。

繰越事由一覧を参照の上、「繰越事由(記号等)」を選択してください。